

危機感を共有し みんなで乗り越える

国東市民病院
副院長 医師
寄野 浩 さん

国東市民病院副院長の寄野浩さんが語ってくれたのは、医療現場の切実な思いでした。

「テレビなどでよく聞く『医療崩壊』は、他人事ではないのです。当院でも、このまま市内で新型コロナウイルス感染者が増え続けられれば、通常医療だけでなく救急医療にも支障が生じかねません。まさに、今が踏ん張りどころ。地域医療を

守るため、この危機感を皆さんに共有していただきたいです」

私たちに求められていることは、危機感をもって、基本的な感染対策を徹底することです。自分を守り、家族を守り、大切な人を守るため、今日からでも意識を変え、行動に移していきましょう。コロナ危機をみんなで乗り越える——。私たちの底力が今、試されています。

国東市民病院 職員募集

国東市民病院では、さらなる医療サービスの充実のため、職員を募集しています。

【正規職員】

薬剤師 1名

- ・要資格
- ・昭和45年4月2日以降に生まれた方

【会計年度任用職員】

看護師 フルタイム3名・パートタイム3名

- ・要資格

看護助手 2名

- ・資格不要

※申込書は病院窓口またはホームページにて配布しています。

※試験は随時行います。詳細はホームページをご覧ください。



「市民の皆さんに安心安全な医療を提供したい」という気持ちで、働いています。一緒に地域医療を支えていきませんか。



国東市民病院 看護師
宮永 みゆき さん

【問合先】国東市民病院 ☎0978-67-1211

覚えておきたい 感染リスクが高まる「5つの場面」

国は、感染のリスク(危険性)が高まる「5つの場面」を公表しています。これらの場面は集団感染が発生しやすく、感染拡大の大きな要因となります。強く意識して避けてください。

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をする中で、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



会食の際は「マスク会食」の徹底を！

大人数(例えば、5人以上)での会食は、控えてください。少人数で会食する場合は、マスクを着けたままで会食する「マスク会食」を徹底しましょう。

感染の危険性を下げながら、会食を楽しむ方法

- 少人数、短時間で
- なるべく普段一緒にいる人と
- 深酒、はしご酒は控え、適度な酒量で
- 箸やコップは使いまわさず、一人一人です
- 座る時は、お互いの正面や真横を避け、斜め向かいに
- 飲食する時だけマスクを外し、会話の際にはマスクを着けて

